



# 山田こうじです！

3月17日の経済総務委員会で、税のありようについて京都市の認識を質しました。「課税自主権」というのであれば、アベノミクスで利益をあげている資本金3億円以上の京都の大企業に法人住民税超過課税を限度額いっぱいまで課税し財源確保を」と求めましたが、「成長戦略のもと法人税増税はできない」と国いなりの答弁に終始しました。

また、住民税・所得税の控除額が生活保護

基準よりも低いことに對する認識や、累進課税が緩和され、住民税は3段階から一律10%となり、所得税の最高税率もかつて75%あったものが45%に引き下げられ、高額所得者減税が繰り返されてきたことが、財政基盤を脆弱にしていると認識を質しました。

この問題でも、「国において負担の公正をはかることを念頭に議論されたもの」と課税自主権の言葉は単なる言い訳。ここでも国

いなりの姿勢から抜けない意思のない答弁の繰り返しでした。三位一体の改革で税源移譲を口実に地方交付税が削減され、一層の地方財政危機に陥るばかりです。

累進課税の緩和が所得の再配分機能を失わせ、格差が拡大しています。そのうえ、消費税増税ではさらなる格差拡大を招きます。負担能力に応じ大企業・大金持ちに自分の負担を求める税制改革こそ必用です。

## 京都市避難勧告等判断・伝達マニュアル(案)

近年豪雨災害や地震の発生等、自然災害が多発しています。こうした状況のもと、行財政局から「京都市避難勧告等判断・伝達マニュアル(水害・土砂災害編) (案) について報告がありました。

今後、自主防災会、消防団等に研修会実施や市民周知等、説明があるという事です。

高齢者等、災害弱者等への伝達・

支援等様々な問題で質疑されました。なにより、地域の状況に対応した具体化が必要です。

また、マニュアルの研修のみならず、避難勧告の伝達については地域の実情をよく把握したうえで運用すること求め、行政自身の体制確立は欠かせません。

行革の名のもとに消防職員の削減等、行政の責任放棄があってはなりません。



道中のバスでは、恒例の市政・府政に関する「山田・かみねクイズ」やビンゴゲーム等楽しみ、夜の宴会では芸達者のみなさんのカラオケなど、日ごろ見せない新たな一面を発見する等、楽しい旅行となりました。ご参加のみなさんありがとうございました。

## “隠し”待機児に怒り！

京都市の「保育所待機児2年連続ゼロ」の看板は偽り。昨年4月1日現在、京都市の認可施設に入れなかった児童数は637人。「隠し待機児」だと市役所前には抗議の「シャウト」(叫び)が。

二人の子供を、希望しない別々の保育所に預けている「不本意入所」の保護者は送迎に時間がかかり延長保育等の深刻な負担を涙ながらに訴えられていました。「保育所増やして」の声を切実です。



## 第132回 暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも…  
金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構です。  
秘密厳守・相談無料です。お気軽にお越しください。

### 4月23日(土) 午後1時半~3時

会場 安井後援会事務所(安井小学校前)

主催 日本共産党安井後援会事務所

佐々木 義人 801-9379

### 一人で悩まず、気軽にお越しください！

まいどおおきこ  
FUKUKUNDO  
No.137

第36回旅行会で、奥飛騨焼岳温泉へ。

今回はバス一台で47名の参加で少し窮屈な旅行となりました。土日の日程となり、初めて私の娘も参加させていただきました。郡上八幡の街並みや白川郷の合掌造りを散策し、焼岳温泉では100%源泉かけ流しの庭園露天風呂「うぐいすの湯」を堪能しリフレッシュすることができました。

豪華料理と、サービスエリアでの買い食いや、車内での宴会で少々食べ過ぎました。